

市民建産常任委員会報告書

平成26年6月10日

委員長 飯尾 助広

市民建産委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。平成26年5月14日、16日に、関係部課長および関係者の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部 環境課

種類別のごみの排出量について報告がありました。特に古紙類等について回収量が減少傾向にあり関係団体と調査し現状把握するとのこと。生ごみ堆肥化容器及び生ごみ処理機器補助について補助金交付決定者の利用状況等の実態調査を行うとのこと。海津木苑について平成21年から5年間の推移をみると、処理量は約2,700㎏減少して12,522㎏に、稼働率も11%下がって51.3%となっている。放流水、電力、水道の使用量や薬品料金は下がっているものの電力料金は値上げにより逆に上がっているとのこと。そのため1㎏当たりの費用は2,309円から2,487円へと上がっている状況にある。環境基本計画に伴う実施計画の策定については8月上旬に環境調整委員会、下旬に環境審議会で協議し9月下旬策定完了を予定している。第2次古賀市ごみ処理基本計画はこれから10年間に取り組むスケジュールを作成中である。事業系ごみ対策では排出状況調査及び事業所訪問資料の作成、家庭系ごみ対策では3Rの見える化など市民に分かりやすいごみの出し方パンフレットを作成とのこと。事業所排水による河川水質調査はどう行っているかとの間に、市内の河川の調査は年4回行っているとのこと。また、事業所からの汚染物質の流出があれば保健所と連携で原因調査、改善指導を行っているとのこと。古紙回収について平成19年度比で3割減のデータがあり、関係団体と調査するということであるが具体的にはどう行うのかとの間に、現在登録団体が約70件でありアンケート調査を実施したいとのこと。

市民国保課

年間業務計画の中で、例年と異なるスケジュールとして、今年が3年に一度の重度障害者医療証の切り替えの年であり、9月下旬の医療証発送に向けた準備を行うとのこと、また子ども医療制度助成拡大についても、9月下旬に医療証の発送予定とのこと。市の人口等について前年度比で人口490人減、世帯数77世帯増で世帯の単世帯化や少人数世帯化が進んでいる。また転入・転出による社会動態は540人減、自然増減は出生死亡比較で50人増。地区別では、特に100名を越す人口増減があった地区として、鹿部区で107人の増、病院区では110名の減となった。また、千鳥南区と東浜山団地区の増減には分区によるものも含まれているとのこと。住民基本台帳カードは平成25年度404枚交付、3年間行ってきたバスカードは最終年度ということもあり75枚の発行となっているとのこと。国民健康保険世帯数の中で短期証の発行が前年度より100世帯ほど減少しているがその原因はとの間に、ファイナンシャルプランナーへの相談など、収納の努力により滞納状況が解消しているのではないかと見ているとのこと。

市税課

市民税等の納税通知書の発送、固定資産税の概要調書・総評価見込みなど年間業務計画の説明がありました。平成 26 年度固定資産税は 4 月 10 日に納税通知書を送付しており、調定額は約 28 億 7,500 万円で昨年度比 1.4%の増加とのこと。

収納管理課

本年度は課長以下 10 名で収納管理業務にあたるとのこと。ファイナンシャルプランナー相談事業、県との共同徴収と合同公売等、不動産の公売などについて年間業務計画の説明がありました。平成 25 年度の市税等の収納率は市税 92.54%（前年比プラス 4.51%）国民健康保険税 75.82%（同プラス 2.78%）後期高齢者医療保険料 98.48%（同プラス 0.32%）でいずれも向上しているとのこと。

人権センター

人権施策審議会、人権尊重推進委員会、社会同和教育推進協議会、人権擁護委員等の年間業務計画及び 7 月の同和問題啓発強調月間の取組について説明がありました。男女共同参画について人権センターはどう関わっているかとの問いに、各種事業については必ずといっていいほど担当課より連絡をもらっており、人権センターでも男女共同参画をセミナーのテーマとして取り上げることもある。また推進委員には係長職にあるものが参画しておりそこが中心に行う集いやセミナーを通じ全職員に周知するよう図られているとのこと。

建設産業部

商工政策課

平成 25 年度の無料職業紹介所の実績は、求職者数 434 名に対し内定者 369 名（就職決定率 85%）であり、採用決定者の内訳は正社員 101 名、正社員以外 268 名とのこと。消費生活センターの平成 25 年の相談件数は 288 件であり昨年と比べ 30 件、約 16%の増とのこと。さと・やま観光 PR 事業では水辺公園での枝垂れ桜の植樹・案内看板の整備等を行っており、5 月 1 日より転入者に対し薬王寺温泉の利用チケットの配布を実施しているとのこと。観光案内所の 25 年度来館者数は 16,897 人（月平均 1,400 人）、売り上げ約 181 万円（月平均 15 万円）であり昨年と比べ来場者数 392 人減、売り上げ約 100 万円減とのこと。ふるさと就労促進事業の制度について説明がありました。篠林地区開発について新宮町へ抜ける道路の新設について施工は新宮町、その後の維持管理は古賀市で行う方向で新宮町と協議中とのこと。その他食の祭典、プレミアム商品券、ふるさと大使イベント等の報告がありました。

水道課

平成 26 年度に予定されているグリーンパーク配水管布設工事等 9 件の事業の説明がありました。具体的計画はどの問いに、今回はグリーンパーク直前の道路までの取り付け配管工事で、公園内の配管については既設の配管を利用、クロスパルは井戸と水道を併用することになるとのこと。第 10 期の水道事業拡張の内容はどの問いに、米多比区の小野里団地・小野小学校・市営林田団地を予定しており、薬王寺団地のルートを経由することにより将来、同地域の水質対策に備えたいとのこと。現在の古賀市の水供給内訳はどの問いに、古賀ダム 2,000 m³、大根川取水 2,400 m³、地下水取水 7,800 m³、福岡市水道事業団 8,100 m³の計 20,300 m³で平成 28 年度からは福北導水 3,000 m³も予定しているとのこと。

下水道課

公共下水道事業として古賀水再生センター機械更新工事等7件の補助事業、11件の単独事業及び薦野・米多比地区農業集落排水事業の進捗状況の報告がありました。古賀市千鳥排水区の下流域にあたる福津市苅目川周辺はゲリラ豪雨等による住宅浸水が多発しており、今後福津市と協力し舞の里地域から千鳥ヶ池への分水を計画しているとのこと。

都市計画課

花見東地区公園整備事業、グリーンパーク給水管敷設工事、木造戸建住宅耐震改修工事費補助事業について説明がありました。花見東公園事業の日程はとの間に、平成26年度は用地の買収及び公園の測量設計業務委託を実施する。設計業務は6月に発注、秋ごろまでにワークショップを4回程度実施し年度末に設計完成を予定しているとのこと。古賀グリーンパーク多目的広場の改修工事はグラウンドの排水機能を改善することを目的にグラウンド約15,000㎡の表面10cm程度をほぐして再度整地するとのこと。まちなか暮らし・にぎわい再生事業は3年目を迎え、新たに花鶴丘3丁目区が対象地区に加わった。平成26年度は10件分の200万円を予算計上しているとのこと。都市計画道路県決定分の変更について対象路線7路線のうち2路線を廃止とする予定とのこと。廃止予定路線のうち浜大塚線は東西線の重要な路線と思われるが廃止の理由はとの間に、京田馬渡線や谷山古賀線などの代替線の整備が進んでいること、町川原交差点付近に住宅が張り付いていることなどとのこと。40数年都市計画道路としながら手をつけず廃止することへの地元説明は十分なされたのか、地元の理解は得られたのかとの間に、地元説明会の参加者は町川原区・青柳区で7名、今後公聴会での意見収集となるとのこと。調整区域内での都市計画道路変更は地元との調整を十分にしたいとの要望がありました。

建設課

JR千鳥駅東口駅前広場については今年度、整備工事に向けて詳細設計、平成27年度用地買収、28～29年工事実施という予定で進むとのこと。西鉄跡地関係では大根川より南側を古賀ゴルフ・クラブから寄付をいただいて歩道として整備するための用地測量と工事、大根川にかかる花鶴鉄道橋は歩道橋として改良するための設計を実施するとのこと。街路灯等の落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、街路灯317本・看板25枚について点検及びナットの締め直し等の措置をとるとのこと。薬王寺小山田線のバイパス道路の新設工事は平成26年12月までに予備設計を終了予定とのこと。薬王寺温泉と興山園を繋ぐ興山園遊歩道整備工事は平成27年2月頃までに整備予定とのこと。県事業として筑紫野・古賀線のアンピール花見南横から東医療センター南門バス停間において交差点道路照明を8基、千鳥南交差点で3基新設予定とのこと。地籍調査については谷山地区の一筆調査を行うとのこと。

農林振興課

耕作放棄地対策として今年度は青柳地区において約4,000㎡を農地として再生するとのこと。農地利用集積促進事業は土地利用型農業から経営転換する農業者、離農する農業者、農地の相続人に対し、経営転換協力金を交付するもので対象戸数は10戸を見込んでいる。また農業者育成事業は45歳未満の独立・自営就農者に年間150万円を交付するもので対象者を2名としている。地域農地有効利用推進事業は平成24年度から「人・農地プラン」の作成に取り組む事業であり「人・農地プラン検討会」の運営及び農地地図の整備に係るもの。平成25年までに薬王寺・筵内・青柳・小山田で完成しており今年度も4～5地区の完成を目指すとのこと。農業経営効

率化事業として水田農業担い手機械導入支援、JA 粕屋育苗センターの機能改善事業、その他 K-1 グランプリ、農産物販路拡大事業についての説明がありました。農業用施設改良事業として薦野山の神仕掛水路改修など 5 工事を予定しているとのこと。

森林関係では水源涵養森林整備事業を谷山区で 3 ha で予定、松くい虫防除（地上散布）を 5 月 30 日・31 日に 33.32ha を実施予定とのこと、また樹幹注入を 12～2 月実施予定とのこと。朝どりこがスイーツコーン祭りを 6 月 29 日、農家直売！軽トラ市を 7 月 6 日に開催予定とのこと。

以上、所管事務調査の概要報告を終わります。